

平成27年 教育委員会第8回定例会秘密会 会議録

日 時 平成27年5月12日（火）

午後4時05分～午後4時30分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 2 報告

【子ども総務課】

(1) 平成27年度 子ども部 組織目標管理（重要政策・施策）シート

(2) 平成26年度 子ども・教育部 組織目標管理兼事務事業評価シート（達成状況）

出席委員（4名）

教育委員長	近藤 明義
教育委員長職務代理者	中川 典子
教育委員	古川 紀子
教育長	島崎 友四郎

出席職員（11名）

子ども部長	保科 彰吾
教育担当部長	小川 賢太郎
子ども総務課長	村木 久人
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども支援課長	中尾 真理子
子育て推進課長	加藤 伸昭
児童・家庭支援センター所長	恩田 浩行
子ども施設課長	小池 正敏
学務課長	伊藤 司
指導課長	杉浦 伸一
指導課 統括指導主事	高橋 美香

欠席委員（0名）

欠席職員（0名）

書記（2名）

総務係長	久保 俊一
総務係員	田口 有美子

近藤委員長 | ただいまから平成27年教育委員会第8回定例会秘密会を開会します。

◎日程第2 報告

子ども総務課

- (1) 平成27年度 子ども部 組織目標管理（重要政策・施策）シート
- (2) 平成26年度 子ども・教育部 組織目標管理兼事務事業評価シート
(達成状況)

近藤委員長 | ただいまから平成27年教育委員会第8回定例会秘密会を開会します。

日程第2、報告に入ります。

子ども総務課長より報告をお願いします。

子ども総務課長 | それでは、子ども総務課からの報告事項といたしまして、(1)平成27年度子ども部組織目標管理（重点政策・施策）シート、それから、(2)平成26年度子ども・教育部組織目標管理兼事務事業評価シート（達成状況）、こちら2件続けてご説明させていただきます。

初めに、27年度の組織目標管理シートのほうでございます。こちらは、本日、A3判の資料、両面のを1枚おつけしてございますので、ご覧いただきたいと思っております。

本年度の教育委員会事務局子ども部の組織目標といたしまして、こちらの本日の資料に記載しております表面の1、2番、それから、裏面の3、4、5番、こちらの5点を大きな目標と考えております。

まず、1番、「保育園の待機児童ゼロ対策」ということでございます。

こちらにつきましては、次の「平成27年度の課題認識・懸案事項」というところに記載がございしますが、平成27年4月の保育園の待機児童はゼロということになっております。

しかしながら、今後も0～5歳児の乳幼児人口の増加が見込まれておりますし、保育所の待機児童ゼロを堅持していくためには、保育所定員の増加が喫緊の課題ということでございます。

また、あわせて、「子どもが健やかに育つための環境の確保に関する条例」の趣旨の具体化に向けて、公立・私立の区別なく、良好な保育環境を提供していく必要があると考えております。

こちらの取り組みにつきましては、次の平成27年度の課題解決の方向性というところがございますが、多様な保育施設の計画的な誘致を行い、保育供給量の増大を進めていく。それから、保育所等に所在する子どもたちの保育環境向上のため、公私連携を進めるとともに、関係各署と協議の上、区有施設の活用を促進していく、こういった方向性で課題の解決を図っていきたくと考えております。

次に、2番、「教育委員会制度の改革への対応」ということでございます。

こちらにつきましては、地教行法の改正に伴いまして、「総合教育会議」の設置と区の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の「大綱」、

こちらの策定が義務づけられているところがございます。この法改正に従いまして、本年度第1回目の総合教育会議を平成27年6月下旬ごろをめどに開催したいと考えております。

また、大綱につきましては、「共育マスタープラン」をベースといたしまして、こちらの改正を行い、それをもって大綱とするような方向で考えているところがございます。

次に、裏面のほうに行きまして、3番、「子ども自身が目標を定め自己実現を図る、課題に主体的に対応する力の育成」ということでございます。

こちら、課題の認識・懸案事項といたしまして、今日の教育は、基礎的な学力の確実な習得のみならず、主体的・創造的に問題解決を図る思考力と実践力を育む教育が求められている。

小学校については、児童数が急増している学校がある一方で、単学級となっている学校もあるなど、小学校・幼稚園の8校・8園体制、こちらをどのように堅持していくか、その際より質の高い初等教育の在り方を検討していく必要があると考えております。

それから、乳幼児から小学校、さらには中等教育に至るまでの0歳から18歳までの成長を見通した連携教育による教育の質的向上を図る必要があるということでございます。

これらの課題を踏まえまして、方向性といたしましては、仮称でございますが、質の高い初等教育の在り方検討会、こちらを設置したいと考えております。平成27年6月をめどに設置する予定でございます。

それから、基礎的な学力の確実な習得に向けた学力調査及び結果分析に基づいた指導改善プランの作成及び公表を、27年9月をめどに行う予定でございます。

次に、4番目、「社会の変革に対応する力の育成と各校の実情に応じた特色ある教育の充実」ということでございます。

まず、こちらの課題といたしまして、中等教育学校創立10周年の節目を迎え、また、中等教育の在り方検討会の報告を踏まえまして、中高一貫6年制の中等教育学校と在来型中学校とが教育の成果を共有しつつ、教育の質的向上を図る必要があると課題を認識しております。

それから、先ほどもございましたが、次期学習指導要領の基本の考え方があります「主体的に考える力」、こちらを育成するため、宿泊行事のあり方を見直す必要があると考えております。

こちら、委員長のご指摘のとおり、「学力の向上」とこちらの「主体的に考える力」に混同が見られるところございましたが、こちらにございますように、次期学習指導要領の基本ということで、この「主体的に考える力」というものを考えておりますので、宿泊行事もそういったものを踏まえた上で考えていきたいということで、先ほどご説明させていただいたところがございます。

こちらについての方向性といたしましては、中等教育関係につきまして

は、「千代田区における中等教育の在り方検討会」の報告書に基づきまして、中等教育学校と在来型中学校の教育の質的向上に向けた施策を7月をめどに決定していきます。

それから、宿泊行事の位置づけの明確化につきましては、先ほどご説明したとおりでございます。

次に、5番目、「教育施策の整備」というところでございます。

施設の老朽化等によりまして、改築や大規模改修が必要な施設がございます。これらにつきましては、当該施設の歴史性への配慮や隣接する公園施設、他施設との合築施設など、個々の状況を踏まえまして、保護者・近隣等の理解を得ながら、より良好な教育・保育環境を整備していく必要があると考えております。

具体的な施設でございますが、その右側でございますように、まず、九段小学校・幼稚園につきましては、2学期から仮校舎での学校活動を開始できるよう、旧九段中学校校舎での改修工事を進めるとともに、新校舎の建設工事にも着手いたします。平成27年11月をめどに着手する予定でございます。

それから、お茶の水小学校・幼稚園の整備です。こちらにつきましては、現校舎の課題に対応し、教育環境を向上する校舎整備計画を、近隣の建築計画の動向も踏まえまして、検討していく予定でございます。

それから、麴町保育園の園舎整備でございますが、こちらは、28年4月の竣工、それから5月の開設を目指しまして、関係各課との連携を図りながら、平成27年3月に着工した新築工事を引き続き進めてまいります。

それから、四番町保育園・児童館等の整備につきましては、関係各課と連携いたしまして、平成27年6月をめどに、施設整備における基本構想を策定し、平成28年3月をめどに基本設計の完了を目指していく予定でございます。

本年度の子ども部の組織目標といたしましては、以上でございます。

それから、次に、もう1枚の資料、平成26年度の組織目標管理シートでございます。

こちら、昨年度の組織目標についての達成状況ということで公表するものでございます。

昨年度は、こちらの資料にございます1番から裏面の4番まで、この4つを重点施策とさせていただいたところでございます。

まず、1番目の「ICT教育の推進」でございます。

こちらの成果と達成状況ですが、一番右側の列にございますが、真ん中辺、上から3つ目の黒丸のところ、契約その他の関係で、若干納入時期が遅れてしまいましたが、情報教育推進校と指定しております神田一橋中学校におきましては、1人1台のタブレットPCを配布しまして、こちらを活用した授業を実施していく体制を整えたところでございます。

それから、2番、「いじめ防止対策」につきましては、達成状況といたしまして、一番右の列、こちらの2番目の黒丸のところでございますが、6月

末までに、全区立学校で「学校いじめ対策基本方針」を策定いたしました。こちらに基づきまして、いじめ対策を実施しているところでございます。

それから、裏面に参りまして、3番目、「教育・保育施設の整備」です。

こちらの達成状況でございますが、先ほどもありましたが、九段小学校・幼稚園につきましては、平成27年3月末に実施設計を完了いたしました。今後こちらの設計に基づきまして、施設の建設を進めていく予定でございます。

それから、麴町保育園、こちらにつきましても、新築工事に着手いたしましたので、先ほど申し上げましたように、28年4月完成を目標に建築を進めていく予定でございます。

それから、お茶の水幼稚園・小学校につきましては、こちらの校舎の必要条件等をまちづくり推進部に提示いたしまして、具体的な改築計画の協議を開始したところでございます。

次に、4番目、「子育て環境の整備」でございます。

こちらについての成果といたしましては、右側の列の一番上、子ども・子育て事業支援計画を含みます次世代育成支援計画を3月末に策定いたしまして、今後の保育所等の開設及び保育の供給計画を提示いたしました。それから、3つ目の丸のところでございますように、保育所につきましては、平成27年4月に認可保育所2園、それから認証保育所1園を開設し、そのほかに事業所内保育所を1園認可したことで、合計227人の定員増となりました。

また、一番下の黒丸、学童クラブにつきましては、富士見地区に平成27年4月開設の私立学童クラブを新たに1カ所増設し、また、弾力的対応等によりまして、学童クラブの待機児ゼロを堅持しているところでございます。

昨年度の組織目標についての達成状況についてのご説明は以上でございます。

報告につきましては以上でございますが、本件は、政策形成過程であるため、非公開との決定をいただいておりますが、政策経営部で千代田区全体の組織目標公表後に会議録を公開する手続きをとりたいと考えてございます。よろしく願いいたします。

ご説明は以上です。

近藤委員長

ありがとうございました。

いかがでしょうか。ご意見を含めて、ご質問があればお願いいたします。

古川委員

ちょっと伺いたいんですけども、子ども・教育部のシートの1番のICT教育ですが、通年を通して各校で情報モラル教室が行われていると思いますが、親子で学ぶ情報モラル教室は、中学でも親子で学ぶという形になっていましたっけ。

子ども総務課長

はい。

古川委員

なっていますか。

いろいろな中学でも、いろいろなテーマの講演会が盛りだくさんで、今まではいつも保護者に連絡があって、希望者は参観できていたんですけど

も、親子で学ぶものですし、周知の方法に、手紙1枚でもたくさんの講演会のお知らせが来ていたので、校長先生が変わってきたりして、もしかしたら方針が変わるかもしれませんが、少し力を入れた告知の仕方をされたほうがいいんじゃないかなと思いました。保護者に対して、保護者もぜひぜひ参加してくださいというような。特に情報モラルは、保護者もいろいろと学び、ご家庭でのご指導、管理が大切だと思います。

あと、教育研究所の主催で、教育課題研究のテーマを挙げて、それを各校へいろいろ研究していただいて、学校へ還元しましたとありますが、その還元の仕方ですけれども、教育研究所での研究の成果はどういうふうな機会に各校に発信されているのかなと、気になりました。というのは、教育会のペスタロッヂ祭のときに、教育研究所の部門発表があったのですが、教育会と教育研究所の位置関係とかがちょっとそのときにぴんとこなかったので、こういう場でも発表されているのかと印象に残っているんですけれども。教育研究所での研究の成果の各校への還元の機会というのはどういったときなんでしょうか。

近藤委員長

ちょっとよろしいですか。教育研究所では、今まで、その年度によって違いますが、千代田区の教育課題というものを1つから2つぐらい、テーマ設定をして、教育研究所の先生方が中心になって、各学校からテーマに基づいてそれを研究していただく先生方に来ていただいて、研究所の先生がリーダー的な役割をしながら課題解決をしていくという。その研究の内容報告は、指導課とタイアップをしながら、何かリーフレットを作って各学校に配布していたと思います。

現在は研究所の組織そのものが小さくなっているので、2つぐらいのテーマでということじゃなくて、せいぜい1つ、毎年1つのテーマ設定をして、そのことで研究を進めているという状況だと思いますね。

中川委員
統括指導主事

武雄視察も一部ですよ。

平成26年度の教育課題研究についてですが、実際のこの教育課題研究の進め方としては、先ほど委員長がお示ししてくださったとおりです。例年と違っていたのは、平成26年度にパソコンが入り、1人1台体制になっていくということは非常に大きいことだと捉えまして、全部の小学校、中学校から1人ずつの委員を推薦していただきまして、全校体制で研究会を行ったということ。それから、実際に年何回かの研究事業ということで、パソコンを使った授業を行ったのですが、そのときには広く呼びかけて、いろんな先生方に見に来ていただいたということ。それから、成果物は、例年、委員長のおっしゃるとおり、年度の最後に、冊子とかリーフレットという形でまとめるのですが、平成26年度、入ったパソコンをどのように効果的に使っていくかといったことが中心テーマでございましたので、年度の末を待たずに、適宜情報を発信していきました。平成26年度は情報教育通信というA4表裏1枚のもので、実際の使い方とか機器の紹介とかを、できるだけ写真を加えながら、年4回発行したということがございます。

先ほど古川委員がお話しいただきました教育会の発表会、ペスタロッヂ祭ですが、ご指摘のとおり、実は、何年かに一度、教育課題研のほうも発表させていただいておりまして、平成27年度はI C Tの効果的な活用をテーマに、今年度は課題研究の成果も発表して、成果を広く還元しようという予定となっております。

近藤委員長

よろしいですか。

古川委員

ありがとうございます。

近藤委員長

ほかはいかがでしょうか。

(な し)

近藤委員長

特になければ、以上で本日の日程は全て終了いたしました。

本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。